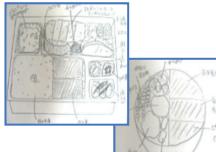


生活デザイン学科の2・3年生を対象とした「生活デザイン演習」の平成29年度プロジェクトでは、前年度まで「食企画・開発実習B」の商品企画提案を具現化して提案する内容を継承し、授業展開しました。この授業は、企業から提示頂いたテーマに沿った商品開発を行います。今年度も、株式会社スーパー・アルプスの協力を得て、お惣菜・お弁当の商品開発に取り組みました。最初の授業で株式会社スーパー・アルプスの方々より、素材の概要、商品開発の目的等テーマについての説明を頂き、その後、グループに分かれて調査、アイデア抽出、整理、試作等の作業を行い、中間時点では、自分たちのアイデアを企業に説明し、企業の方からご意見を頂きました。こうした流れを経て、商品提案をプラッシュアップし、平成30年1月12日に最終発表会を行いました。3年生チーム3班、2年生チーム2班、各々にネーミング賞、バイヤー賞などの表彰と併せて、学生も含めたプロジェクト全員で最優秀賞の投票を行い、株式会社スーパー・アルプスに表彰を賜りました。各々が頑張った成果を評価頂き、学生たちの笑顔いっぱいの集合写真で授業を締めくくりました。



プロジェクト概要

- テーマ
お惣菜・お弁当の商品企画提案
- パートナー
株式会社スーパー・アルプス
- 担当教員
小口 悅子 教授
山崎 薫 准教授
- 実施期間
2017年4月～2018年3月



開発商品から商品化へ

各グループごとに提案商品を仕上げ、前期は先ず3年生のチームが成果報告会で発表しました。素材の特徴を活かしたお弁当が多数披露されました。開発商品のうち、前年度までの企画提案品の数々が株式会社スーパー・アルプス各店舗にて販売されています。また、学生のデザインのお弁当用促販シールも採用されています。本年度プロジェクト品も形となり、世に出で行くことを楽しみにしています。



お惣菜・お弁当の商品企画提案